

(水)

民から絶たれる苦しみ

レビ記七章

しかし、その身に汚れがあるのに、主に献げられた会食のいけにえの肉を食べる者は、その一族から絶たれる。(20)

いけにえの献げ物について続けて語られる中で、戒めに背いた形で食事をする者たちは民の中から絶たれると警告されています。イスラエルの民にとり、一族から絶たれることは死を意味し、恐れられていました。神の祝福の約束は個人に与えられたのではなく、イスラエルという共同体に与えられていたからです。神と契約を結んだこの民に属していることにより、主の祝福に与ることが出来たのです。教会は、新しいイスラエルと呼ばれ、その使命と祝福を受け継いでいます。救いの恵みはキリストのからだである教会を通して私たちに与えられます。教会というキリストの共同体から離れて、信仰者は命を保つことはできません。神はキリストの体なる教会を通して、豊かな恵みを私たちに注いでくださいます。教会にしっかりと根を下ろして、命ある信仰生活を送ろうではありませんか。